

社会的インパクト評価イニシアチブ 第二回全体会合

日時 平成 28 年 9 月 12 日 (月) 1300-14:30

場所 日本財団ビル 2F

◆ 議事次第

1. 初参加メンバー自己紹介と各プロジェクト進捗報告 (13:00-13:15)
2. 第 1 回ロードマップ作業部会の結果報告 (13:15-13:25)
SIMI共同事務局 日本ファンドレイジング協会 鴨崎貴泰 氏
ロードマップ案に関するご説明
3. グループワーク : 「テーマ設定」と「2020年の全体像」について (13:25-14:00)
4チームに分かれていただき、グループワーク
4. グループワーク : 発表 (14:00-14:15)
4チーム5分程度で発表
5. 全体ディスカッション (14:15-14:30)

◆ 議事録

1. 初参加メンバー自己紹介と各プロジェクト進捗報告
事務局より冒頭あいさつが行われ、初参加者からご挨拶いただきました。
(詳細)
-初参加者(以下)の方々からご挨拶
・株式会社フラウ 地域密着型 出版社 濱砂氏
・株式会社クレアン CSR 推進企業 SDGs を企業へどう組み込むか 園田氏
・特定非営利活動法人 クロスフィールズ 留職支援 原田氏
・特定非営利活動法人 ハンガー・フリー・ワールド アドボカシー 渡邊氏
・フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 山中氏
・株式会社日本総合研究所 シンクタンク BOP 関連 渡辺氏
・NEC (日本電気株式会社) インパクト推進 池田氏
2. 第 1 回ロードマップ作業部会の結果報告 (13:15-13:25)
第一回作業部会の進捗報告が行われ、現状のロードマップ案の「テーマ」と「2020年目標」についてイニシアチブのメンバーにご意見を伺いたい旨が説明されました。
3. グループワーク : 「テーマ設定」と「2020年の全体像」について (13:25-14:00)

4チームに分かれていただき、グループワークを実施頂きました。

4. グループワーク : 発表 (14:00-14:15)

4チームごとに発表をいただきました。

(詳細)

-グループワークの発表

① 今田氏グループ (特定非営利活動法人 NPO センター)

「前提の確認」「認知率の上昇からの定着」「7割の分母は」「東京集中懸念 地域格差」
「事業者の主体性を」「定性的な評価を忘れずに」「事業者のレベル別に分ける」
「確立のプロセス重視」「成果の見せ方も考えるべき」

② 藤田氏グループ (公益財団法人日本財団)

1. 「インパクト志向に変えていくためにエビデンス重視 ロジックモデル構築」

・事業者がインパクト思考 PDCA ・事業者と同じことをファウンダーも
(7割の対象について要議論)

2. 「ステークホルダーだけでなく社会全体がインパクト志向 (理解を広める)」

・内部人材、伴走支援 (ファウンダー) の分別化
・インフラ整備・ヒトモノカネ以外にも (横断的に支援できる機関の必要性)
・評価事例の蓄積 (事業ドメインだけでなく規模別にも分類化)
・取り急ぎは数をとにかく集めること (多様な)

③ 幸地氏グループ (ケイスリー株式会社)

・言葉の明確化・ベースラインの設定・現状をもっと調査
(上記を決めてから目標をきめるべきである)
・目標、金額 (数値) と件数の両輪大切
・それぞれの規模・レベル感について考えるべき
・プレーヤーは表記以外にももっといるはず

④ 鴨崎氏 (日本ファンドレイジング協会)

・大分類 小分類 大きな違和感なし
・目標重点に議論
「規模の差別化、時系列でもわかる」「7割?」「評価なぜするのか (メタ認知) 必要性醸成」
「企業がどう取り組む (CSR レポート 義務 or インセンティブ)」「コスト誰が支援?」
「人材育成、3種類・評価専門家・伴走者・内部の人、標準化・マニュアル化必用」

「事前評価・事後評価 プロセスの開示（失敗事例も）」「評価の質を評価する存在」

5. 全体ディスカッション （14:15-14:30）

全体通してのご意見をイニシアチブメンバーの皆さまから頂きました。

（詳細）

- ・評価ツールについて→Shared Measurement だけでない
- ・ベストプラクティスの集め方 関心あるかた募集（事務局ですすめていく）

・参考事例紹介

戸田氏（高島市）

- ・行政内で KPI を設定しそれぞれの事業の評価している（総合戦略？）
（役所の人はどうしても目先のことばかり、長期のビジョンをもってもらいたい）
- ・ワークショップを内部で開催している
- ・評価は監査ではない

内閣府 岡本氏

- ・事例評価蓄積、インパクト評価のロジック化進めている
- ・全国で評価事例を、東京に限らない
- ・補正予算決定までにロジックモデル作成し実施したい。実施企業公募するかもしれない。

以上